

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年8月31日

【評価実施概要】

事業所番号	0172901902		
法人名	有限会社 こころ		
事業所名	グループホーム こころ		
所在地	北海道旭川市亀吉2条2丁目3番地の5 (電話) 0166-29-1127		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成19年8月29日	評価確定日	平成19年9月4日

【情報提供票より】(平成19年07月31日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 10月 12日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	19 人	常勤 10人, 非常勤 9人, 常勤換算	11.9人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2 階建ての	~ 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	450 円	昼食 450 円
	夕食	450 円	おやつ 0 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(7月 31 日現在)

利用者人数	17 名	男性 6 名	女性 11 名
要介護1	2 名	要介護2	2 名
要介護3	4 名	要介護4	7 名
要介護5	2 名	要支援2	
年齢	平均 79 歳	最低 60 歳	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	にしきまち通りC L クリア歯科C L
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

訪問看護ステーション、児童ディサービスが併設された複合施設で利用者を良く知る看護職員と気軽に相談しながら医療が活用できる体制が整っているグループホームである。周囲には、閑静な住宅街や公園などがあり利用者が散歩などの外出を楽しみにしている思いを大切に、ケアに活かされている。また、職員も物腰が柔らかく利用者に合わせられるペースを保持している。ホーム内は、明るく清潔感が漂い、中庭には畑で野菜が作られ収穫を楽しんだり利用者同士ゆっくり談笑などができる東屋が用意されている。「こころ通信」を定期的に発行して家族や町内会に配布するなど認知症に対する啓発や広報にも取り組まれている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、緊急時の対応について課題があげられていましたが、防火責任者が配置され消防署と連携して火災避難訓練や救急救命など実技を伴う訓練や警察と連携した交通安全講習が実施され緊急時の体制が整っています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は職員が参加して実施され、新たな気付きや再確認の研修の機会として捉えられケアサービスの質の向上に利用されています。管理者、職員は評価の意義を確認し合い理解が深められるように取り組まれています。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、「こころ祭り」を通じて家族、町内会役員、地元の人々、他施設の介護職など参加して認知症に対する理解や啓発から実施されています。今後は、利用者やサービスの実態、評価への取り組み状況など報告や意見を求めてサービス向上に活かす取り組みが計画されています。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 金銭出納帳の報告や「こころ通信」を定期的に発行して利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子などが家族に報告され意見や不安などが言いやすい環境作りに取り組まれています。また、健康状態、状況変化についても個々の利用者に合わせた報告が都度行われケアサービスの支援がされています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 盆踊りや清掃活動など町内会行事への参加や2回目を迎えたホーム主催の「こころ祭」を通じて地域の人達との交流が図られています。また、散歩や買い物、ボランティアの受入れ、「こころ通信」を町内会に配布するなど日常生活を通じて地域との連携が行われ認知症に対する理解や広報に取り組んでいます。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	以前からある運営理念をもとに、「利用者のその時のその人に合わせた」利用者を中心としたケアサービスを心掛け、地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして職員間で共有されている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員はネームプレートに常に理念を携帯して、運営理念を達成するために具体的な実践に日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	盆踊りや清掃活動などの町内会の行事に参加したり、地域の人達に参加を呼びかけたホーム主催の「ころこ祭」を実施するなど認知症に対する理解や広報の為に地元の人々との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員は自己評価及び外部評価を実施する意義を良く理解しており、日々の業務の中でそれらを活かして具体的な改善に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、ホームが主催する「こころ祭」を通じて利用者、家族、町内会役員、地域の住民、他施設の介護職、管理者・職員が参加して認知症に対する啓発や広報から取り組まれている。	○	今後は、利用者やサービスの実際、評価への取り組みなど順次計画されています。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業所は、市との連携の重要性を良く理解して、消防署と救急救命や火災避難訓練の実技を伴う訓練や警察に交通安全講習の依頼の実施などケアサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を实践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	金銭出納の報告や「こころ通信」で利用者の日常の暮らしぶりや健康状態、スタッフの紹介などそれぞれの家族に情報提供されている。また、健康状態、状態変化についても都度電話連絡などで詳細に報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の来訪時には気軽に話せる雰囲気づくりに取り組んだり、苦情相談窓口を明確にして意見や苦情・相談ができる環境整備に心掛けそれらを運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職や異動などの定着率は安定している。また、管理者は職員の異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループホーム協議会主催の外部研修の参加や提携医療機関が主催する研修に参加するなど職員を育てる取り組みがされている。また、職場内でのケア会議やケースカンファなどOJTも充実している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者との交流やグループホーム協議会を通じて他施設との積極的な交流など開かれたグループホームである。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して納得したサービスの利用が出来るように入居前には、利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者の「その時の その人に合わせた」思いを大切にして利用者中心に行動することを心掛け、利用者の気持ちになった支えあう関係を築いている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	サービス担当者会議で個々の利用者の思いを職員間で共有して、本人が希望する散歩や買い物など外出の機会を多く作ったり、畑作業など趣味への支援など取り組みがされている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は、センター方式を元に作成されており、利用者、家族の希望や医師・看護師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、計画的に見直しが行われている。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況に応じて、訪問看護の利用や要望のある場合には散歩や買い物など柔軟に支援を行っている。また、身寄りが無く保証人がいない利用者の受け入れや他施設で対応が難しい利用者の受け入れも行われている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	利用者を良く知る看護師や内科医や歯科医などの往診で気軽に相談できる医師が確保されている。また、利用者、家族の希望や要望に応じて状態変化などについても適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ターミナルケアについては、看護師・医師と連携して利用者・家族とも段階的に繰り返し相談し合いながら慎重に検討対応するよう職員間で共有される取り組みがされている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの尊厳やプライバシーを尊重した声かけが取り組まれています。また、記録等の個人情報の扱いについては、配慮がされた取り組みが行われている。		
21	52	○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの思いを尊重して散歩や買い物で金銭を使う場面を見出したり、桜や芝桜見物、図書館訪問など本人の希望やペースに沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が本人の希望や力量に応じて一緒になって楽しんで食事の準備をしたり、職員も同じ食事を摂り和やかな雰囲気を醸し出している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日を決めずに利用者の希望や思いを大切に対応している。また、週2～3日を目安にゆっくりとくつろいで入浴が楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの過去の大事な出来事や生活歴が把握され、散歩や買物、畑の水遣り、野菜の収穫や気分転換のためのドライブで桜・芝桜見物、図書館訪問など外出の機会も多くつづられている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物、散歩、馴染みの喫茶店での喫茶、桜見物、河川敷でのパークゴルフ、公園までのドライブなど気分転換ができるように積極的に外出の支援がされている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は、鍵をかけないケアに取り組んでいる。利用者が外出する時は、職員がさりげなくついていき安全面で配慮されています。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけしている	防火管理者が配置され、緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように実技を伴う火災避難や救急救命の訓練が実施されています。また、警察による交通安全の講習も実施されている。	○	今後は、近隣の住民も参加した火災避難訓練を実施し、協力が得られる働きかけを行う計画がされています。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	具体的な水分・食事摂取量や栄養バランス、カロリーについてもおおよそ把握され支援されている。また、透析食についても講習会に利用者、職員が参加して状況に応じた工夫された支援が行われている。		
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間では、気になる臭いや音の大きさは感じられない。また、廊下・居間や中庭には、椅子やテーブルが配置され一人になったり利用者同士談笑できるスペースが確保されている。また、ベランダからは畑や公園が見えて季節感が感じられるように工夫がされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室入口には、使い慣れた表札が掲げられたり居室には、仏壇や使い慣れた家具などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっていて、一人ひとりの思いが伝わる空間作りとなっている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。